

## 業績のご報告

### 当期の業績概要

当期におけるわが国経済は回復基調を示し、堅調に推移しました。海外においても、米国、中国その他アジア諸国で景気拡大が続き、欧州でも緩やかな回復傾向が見られました。当グループ関連市場については、デジタル家電（デジタルカメラ、携帯電話、液晶テレビ、DVDなど）関連製品の生産調整もほぼ完了し、引き続き市場の牽引役として伸長するなど市場全体は回復傾向で推移しました。

このような環境のもと、当グループは経営目標の達成に向け、時計、デジタルカメラ、電子辞書、携帯電話、TFT液晶といった戦略事業を強力に推進・展開するとともに、利益率の改善、資本効率の向上など経営効率化に一層の注力を図ってきました。その結果、当期の連結売上高は、戦略事業の拡大により前期比3.8%増の5,803億円と4期連続の増収となりました。

利益面については、戦略事業における商品力の強化による付加価値の大幅改善、経営効率化の推進など利益体質の強化に努めた結果、営業利益は431億円（前期比10.4%増）となり、4期連続で増益を達成しました。また、金融収支の改善をはじめとする財務体質強化施策の効果により経常利益は389億円（前期比15.9%増）、当期純利益は237億円（前期比10.3%増）となりました。この結果、売上高、当期純利益は3期連続で過去最高を更新しました。

これをふまえ、当社は当期の配当金を1株につき3円増配し、1株につき20円とさせていただきます。当社の増配はこれにより3期連続となります。

## ごあいさつ

### 株主の皆様へ。

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
2005年度（2005年4月1日～2006年3月31日）の事業概況についてご報告申し上げます。



取締役社長

# 梶尾和雄

## CONTENTS

業績のご報告	
■ごあいさつ	1
■業績のご報告	2
■業績ハイライト(連結)	3
■部門別の概況(連結)	4
■次期の業績見通し/中長期的経営戦略	7
現在の動向	
■当期の事業活動	9
■トピックス	11
■注力事業紹介(デジタルカメラ)	13
■CSRへの取り組み	15
DATA	
■主要財務指標(連結)/要約財務諸表(連結)	17
■主要財務指標(単独)/要約財務諸表(単独)	19
■株式情報	21
■会社概要/主要製品(連結)/役員	22
■株主メモ	裏表紙